

資料

定住促進住宅(地域優良賃貸住宅制度)整備事業

説明資料



令和4年 10月
広島県 安芸太田町

1

移住・定住希望者の状況

空き家バンク利用状況

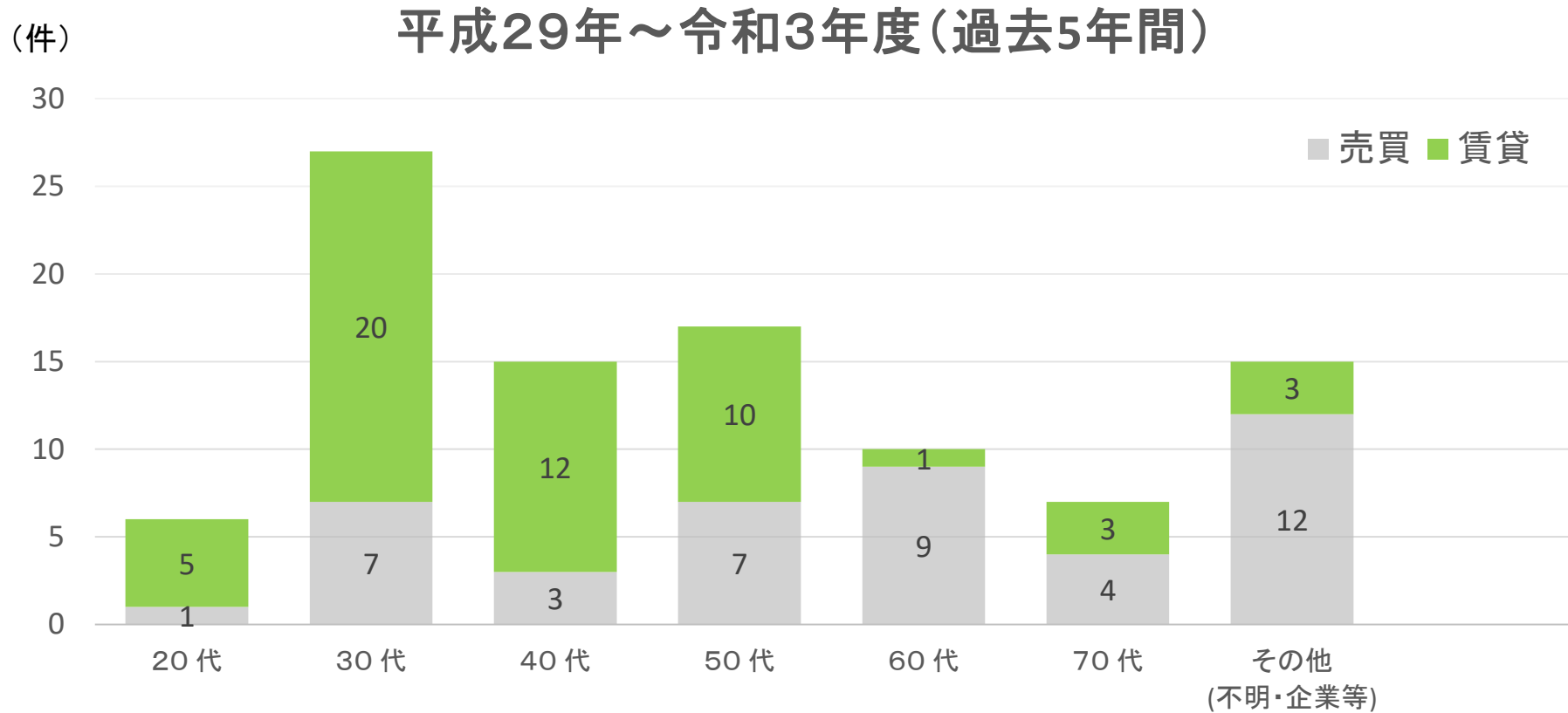
年度	物件登録数	利用 希望者数	マッチング 件数	マッチング		移住 (世帯数)	移住人口
				売買	賃貸		
平成29年度	23	58	21	11	10	11	21
平成30年度	25	56	22	14	8	12	22
平成31年度 (R1)	13	53	16	4	12	11	19
令和 2年度	18	79	18	5	13	14	30
令和 3年度	23	58	20	9	11	9	19
合計	102	304	97	43	54	57	111

- ・**コロナ禍**の令和2年度において、相談件数と移住者数が増加している。
- ・成約件数として、賃貸物件が多い傾向がある
- ・町内移動に関しては、売買も見られるものの、**移住者においてはほとんどが賃貸**となっている
- ・移住＝物件購入はハードルが高いため、賃貸でお試し移住した後に購入を検討するケースが多い。



2

空き家バンク年代別成約状況



・30代～50代で賃貸を希望するケースが多い傾向にある。



3

住宅環境の課題

①民間賃貸住宅の供給不足

- ・民間賃貸住宅はあるがすべて満室。
- ・中山間地で民間事業者参入が無く、新規住宅の積極的な建設がされない。
- ・まずは賃貸住宅で移住・田舎暮らしをスタートというニーズに対応できていない。

②移住・定住を希望する相談者はいるが住宅が見つからない。

- ・町として空き家バンク等で空き家等の活用を図るが登録件数が増えない。
- ・移住者等が生活環境として求める利便性の整った場所の登録が少ない。

③既存の公営住宅は移住者のニーズを満たさない。

- ・公営住宅法による条件(収入上限等)がマッチしない。
- ・築年数が古く若者・子育て世代に対応できない。

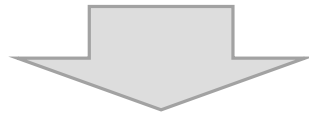


4

事業参加者に求めるもの

空き家バンク、移住定住相談会等での意見

- 自然の中の**教育**は素晴らしいと感じた。
- 安芸太田町のような**自然環境**が良い場所は素晴らしいと思っており、子供たちも喜んでいる。
- 移住するなら最初は賃貸で考えている**。又バックグラウンドとして移住者が存在している地域のほうが入りやすい。心強い。
- 日常の生活や**雑音を強制的にシャットダウン**できて、自然があり水のきれいなところを探していた。
- 都会では**隣人も近い**ため生活音などが聞こえる事もある。**隣人が近すぎない家を希望**している。
- 田舎が好き。土いじりがしたい。
- 田舎の家は大きすぎる。以前空き家バンクで見た物件も部屋数が多くて広すぎた。平屋で1～2部屋あるくらいがちょうどいい。



- ①公営住宅の既成概念にとらわれない自由な発想で、都市部や他地域と違う「安芸太田町に住みたい」と感じる移住・定住者のニーズを満たす住宅を設計、建設し安芸太田町の定住人口を増やしたい。
- ②PPP/PFI方式を活用して新規住宅建設のコストを極力削減したい。一方で、維持管理・運営については長期の契約を結ぶことで民間参入のリスクを低減したい。

5

候補地イメージ

住宅建設候補地

